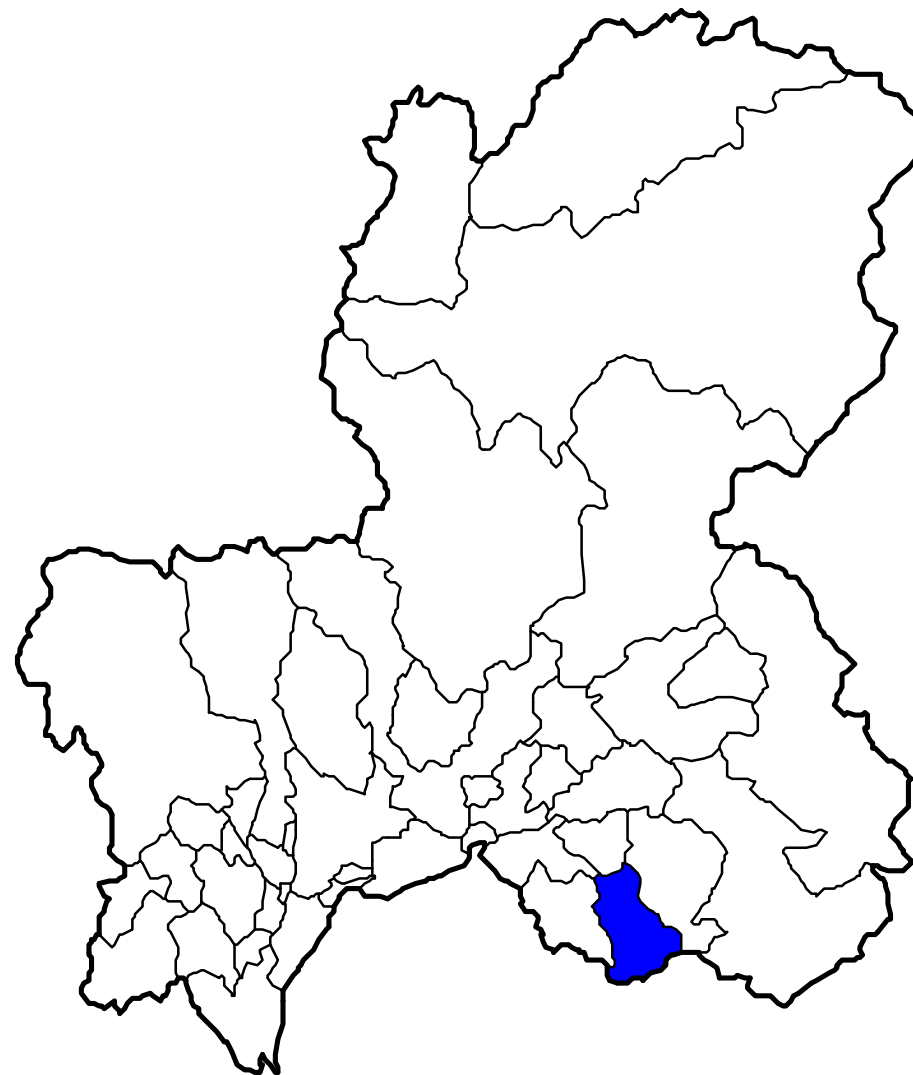


統計からみた 土岐市 の現状

| 総面積km ² | 割合% | 順位 |
|--------------------|------|----|
| 116.02 | 1.09 | 18 |

※割合＝県全体に占める割合



岐阜県 統計課
2026年7月更新

土岐市の人口は2000年頃から減少している

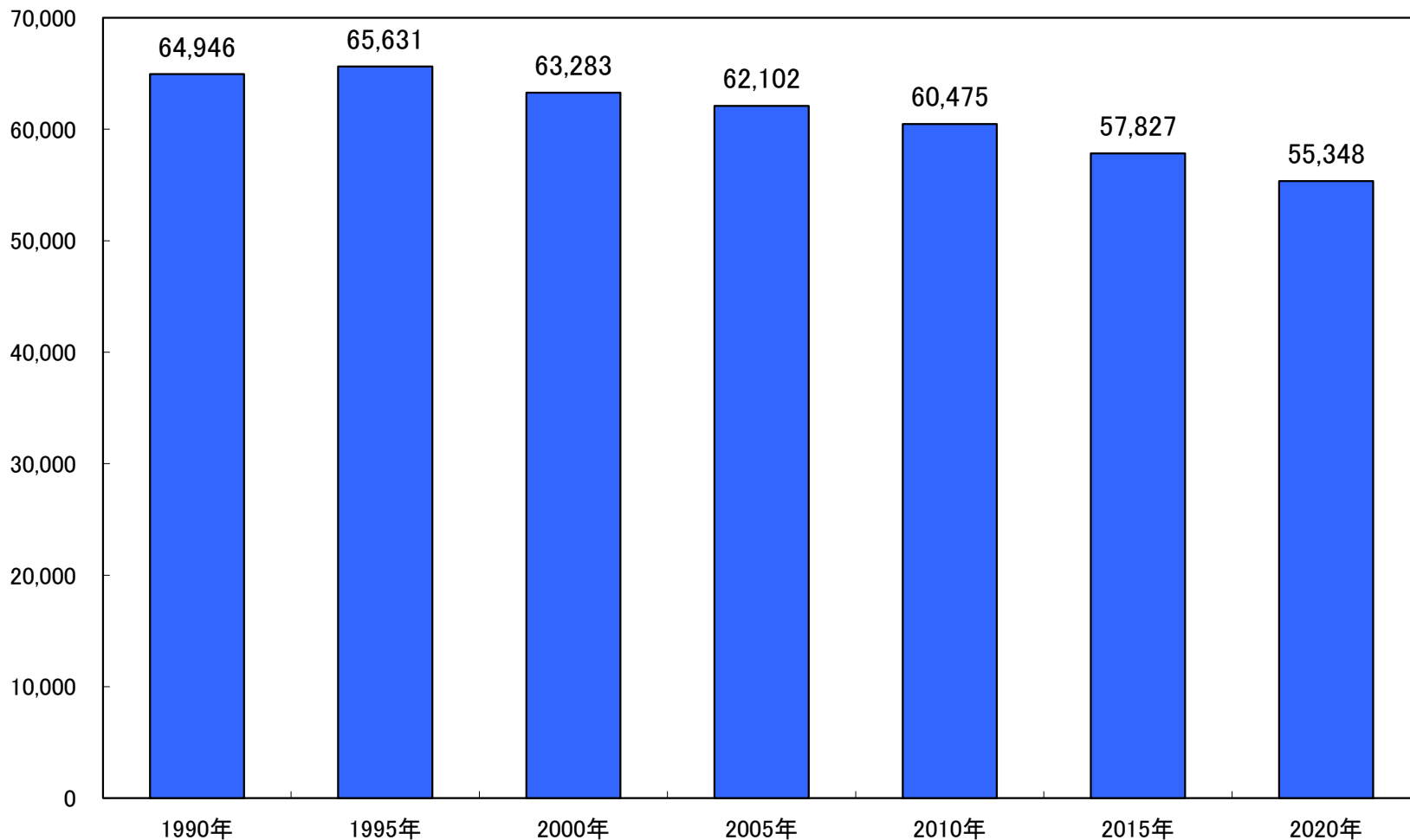
2010年：60,475人 → 2015年：57,827人 (△2,648人)

2015年：57,827人 → 2020年：55,348人 (△2,479人)

人口順位：県内12位 県人口に占める割合：3.1% (1990年) → 2.8% (2020年)

(人)

総人口の推移(土岐市)

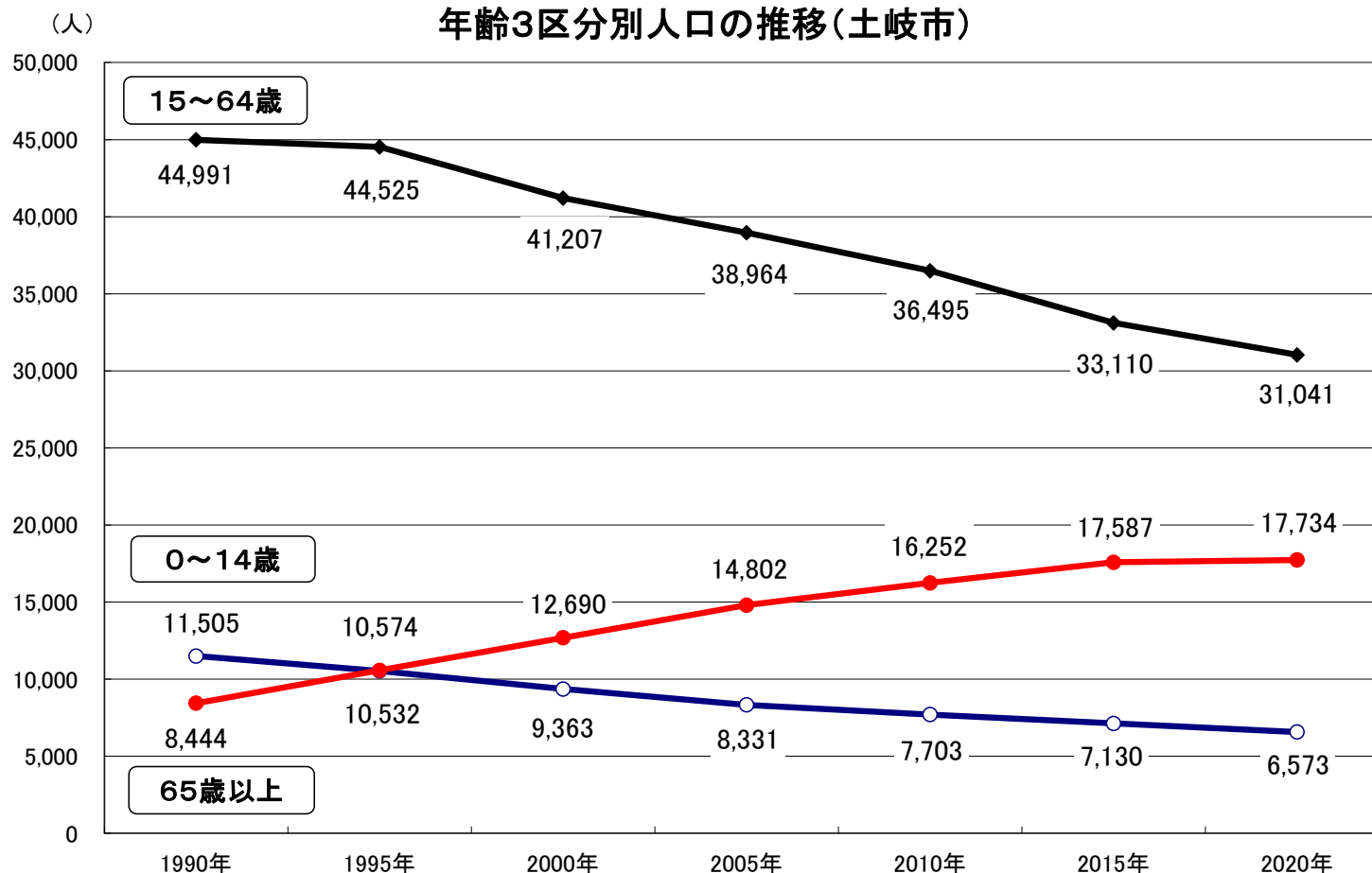


0～14歳の子どもの数が減り続ける一方、65歳以上の高齢者は増加 15～64歳人口は1995年以降減少が続く

| 人口の増減数 | 2010→2015年 | 2015→2020年 |
|--------|------------|------------|
| 0～14歳 | △ 573 | △ 557 |
| 15～64歳 | △ 3,385 | △ 2,069 |
| 65歳以上 | 1,335 | 147 |

| | 年齢3区分別人口の割合 (2020年) | | |
|--------|---------------------|-------|------|
| | 土岐市 | 岐阜県 | 県内順位 |
| 0～14歳 | 11.9% | 12.3% | 24位 |
| 15～64歳 | 56.1% | 57.3% | 22位 |
| 65歳以上 | 32.0% | 30.4% | 20位 |

年齢3区分別人口の推移(土岐市)

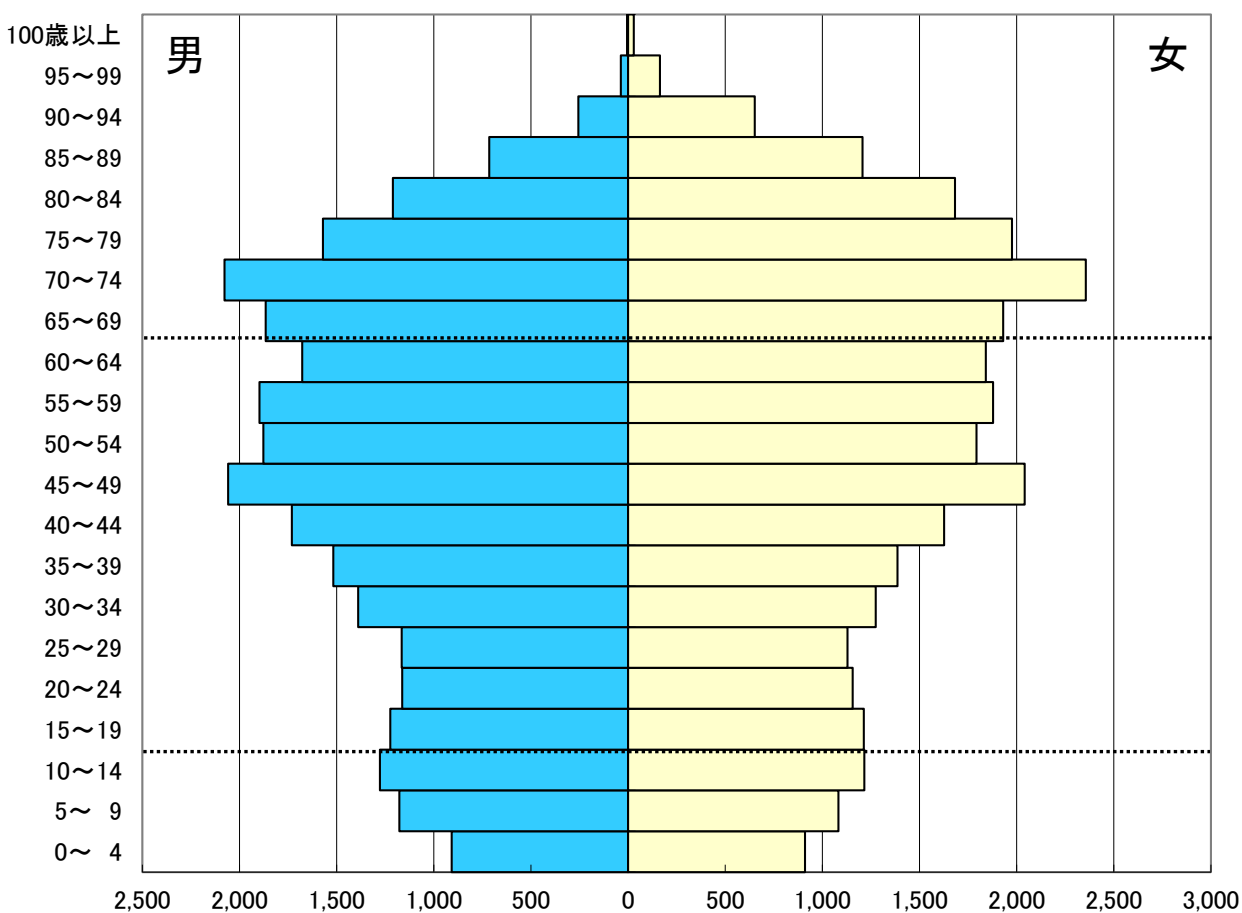


若い世代が少なく、中高年層に厚みのある年齢構造 団塊世代と団塊ジュニア世代が多い人口構造

厚みのある中高年層が65歳以上となり、高齢者はさらに増加するとみられる。

人口に占める65歳以上人口の割合 1990年：13.0%（26位） → 2020年：32.0%（20位）

2020年人口ピラミッド（土岐市）



| | 人口(人) | 構成比(%) |
|--------|--------|--------|
| 総人口 | 55,348 | 100.0 |
| 0~14歳 | 6,573 | 11.9 |
| 15~64歳 | 31,041 | 56.1 |
| 65歳以上 | 17,734 | 32.0 |

<岐阜県全体の人口構成>

- ・0~14歳 : 12.3%
- ・15~64歳 : 57.3%
- ・65歳以上 : 30.4%

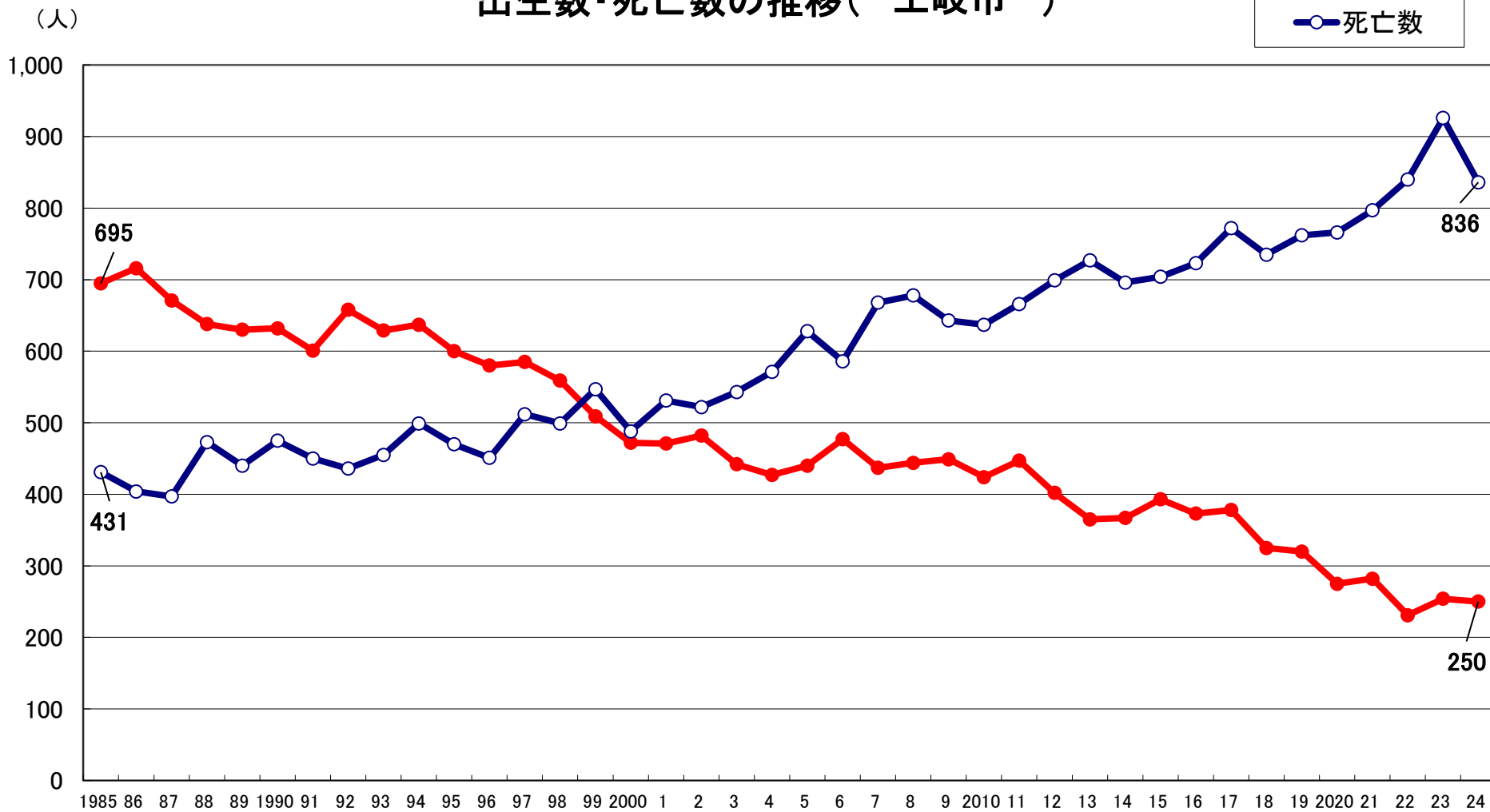
<構成比の県内順位>

- ・0~14歳人口 : 24位
 - ・15~64歳人口 : 22位
 - ・65歳以上人口 : 20位
- ※数値の大きい順

出生数が減少する一方、死亡数が増加 1999年以降、死亡数が出生数を上回る自然減少が続く

2024年の自然動態：出生数250人 死亡数836人 586人の自然減少

出生数・死亡数の推移（土岐市）



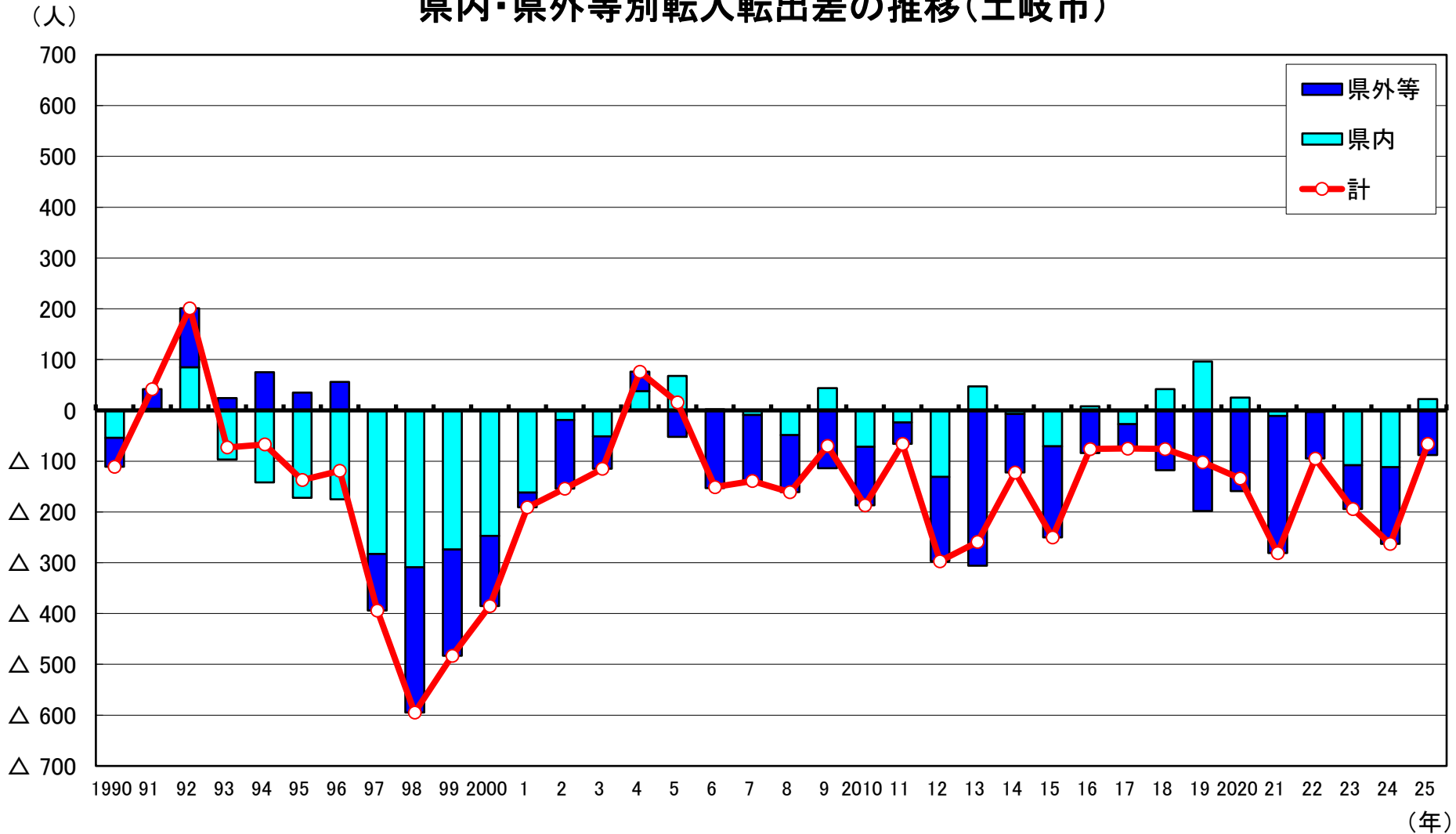
出典：厚生労働省「人口動態統計」（日本人 1～12月の年計）

(年)

2006年以降、転出超過が続く

2025年の社会動態：転入1,792人 転出1,858人 66人の転出超過

県内・県外等別転入転出差の推移(土岐市)

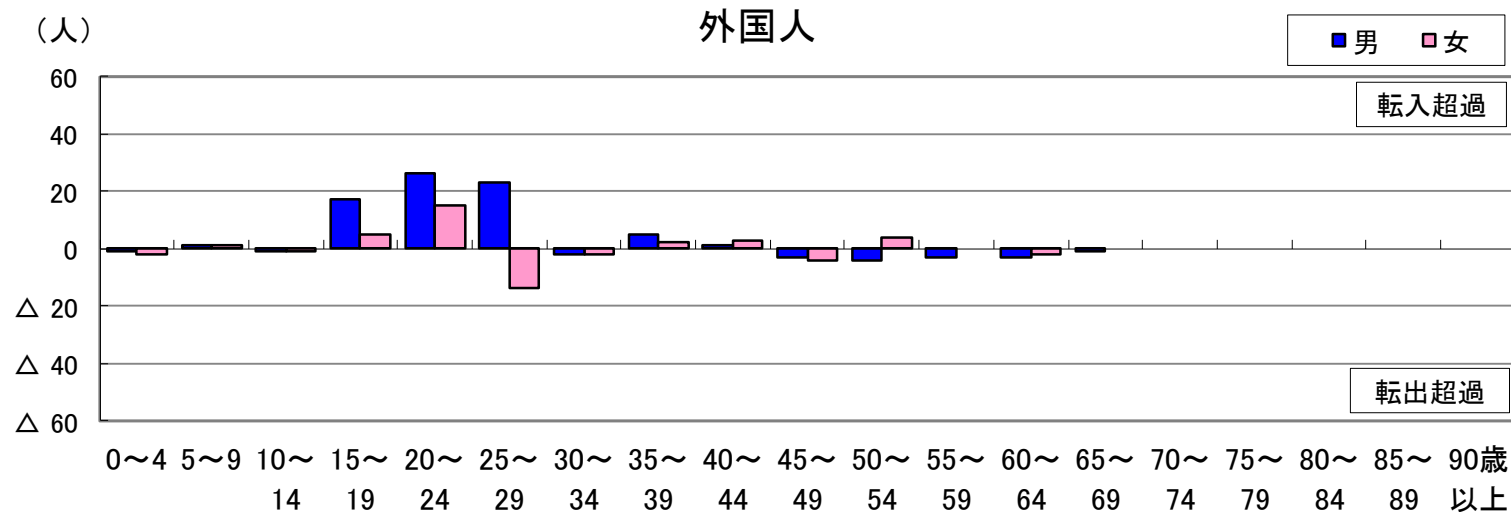
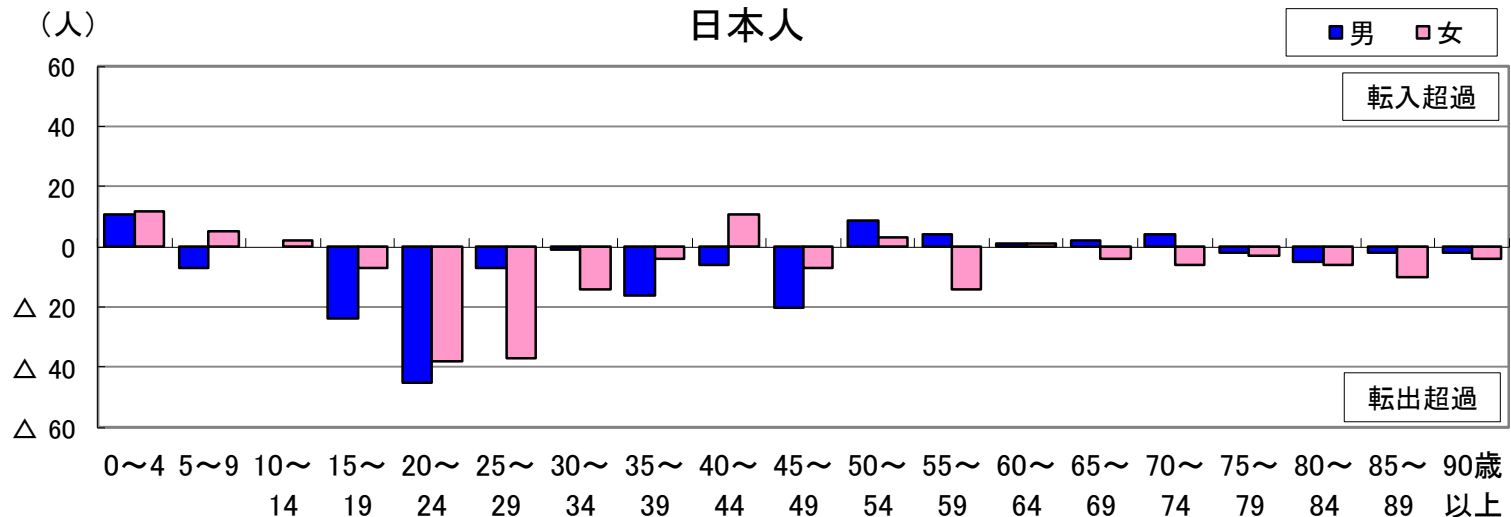


出典：岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」 ※計、県外等には職権記載等を含む。 ※転入転出数は前年10月1日～同年9月30日の合計

日本人は10代後半～20代を中心に転出超過が多い 外国人は10代後半～20代の転入超過が多い

年齢別・男女別の社会動態（土岐市 2025年）

※国内移動

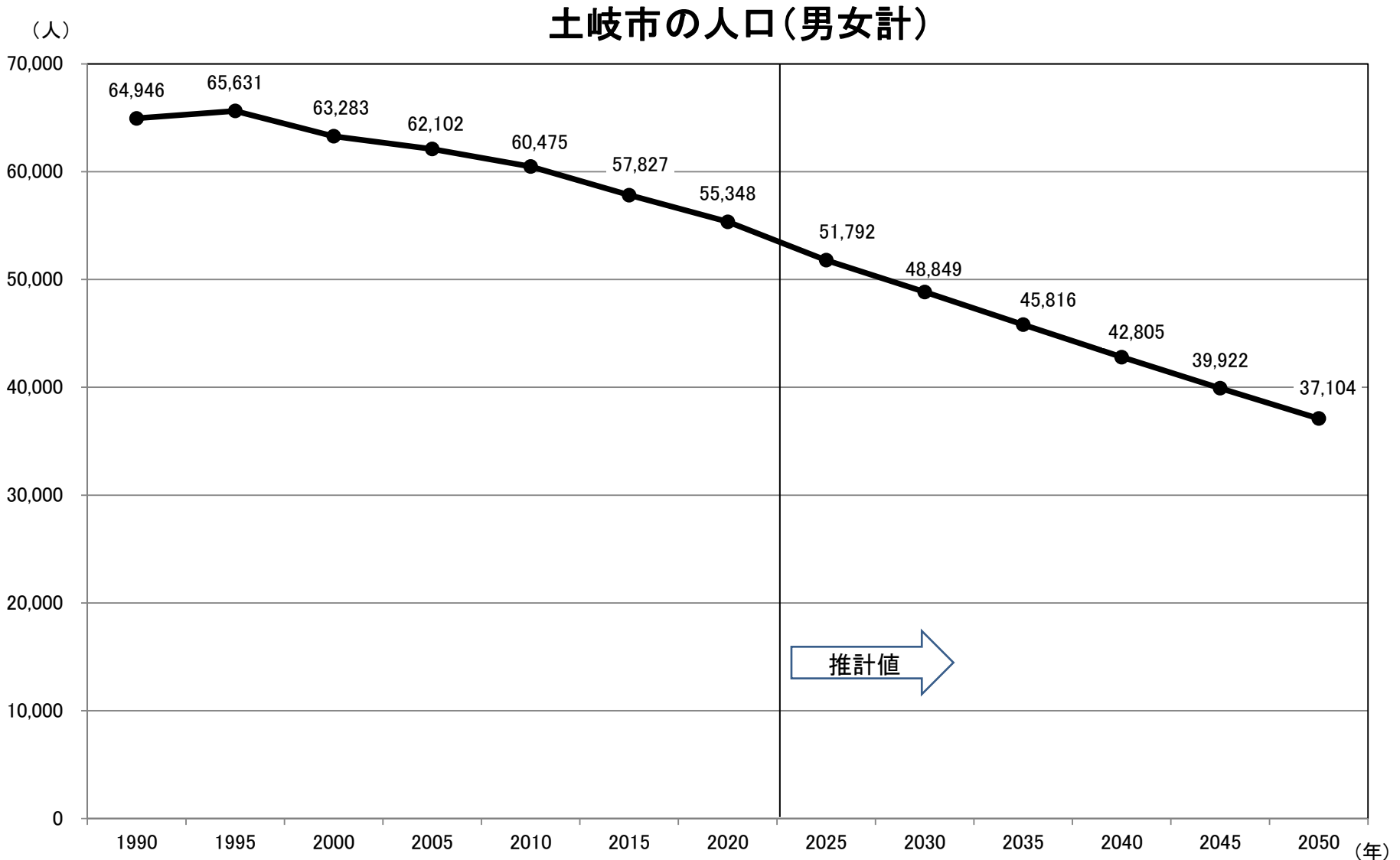


出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」令和7年(2025年)

※社会動態(国内)＝転入者数－転出者数

参考：将来の人口の見通し（総人口の推移）

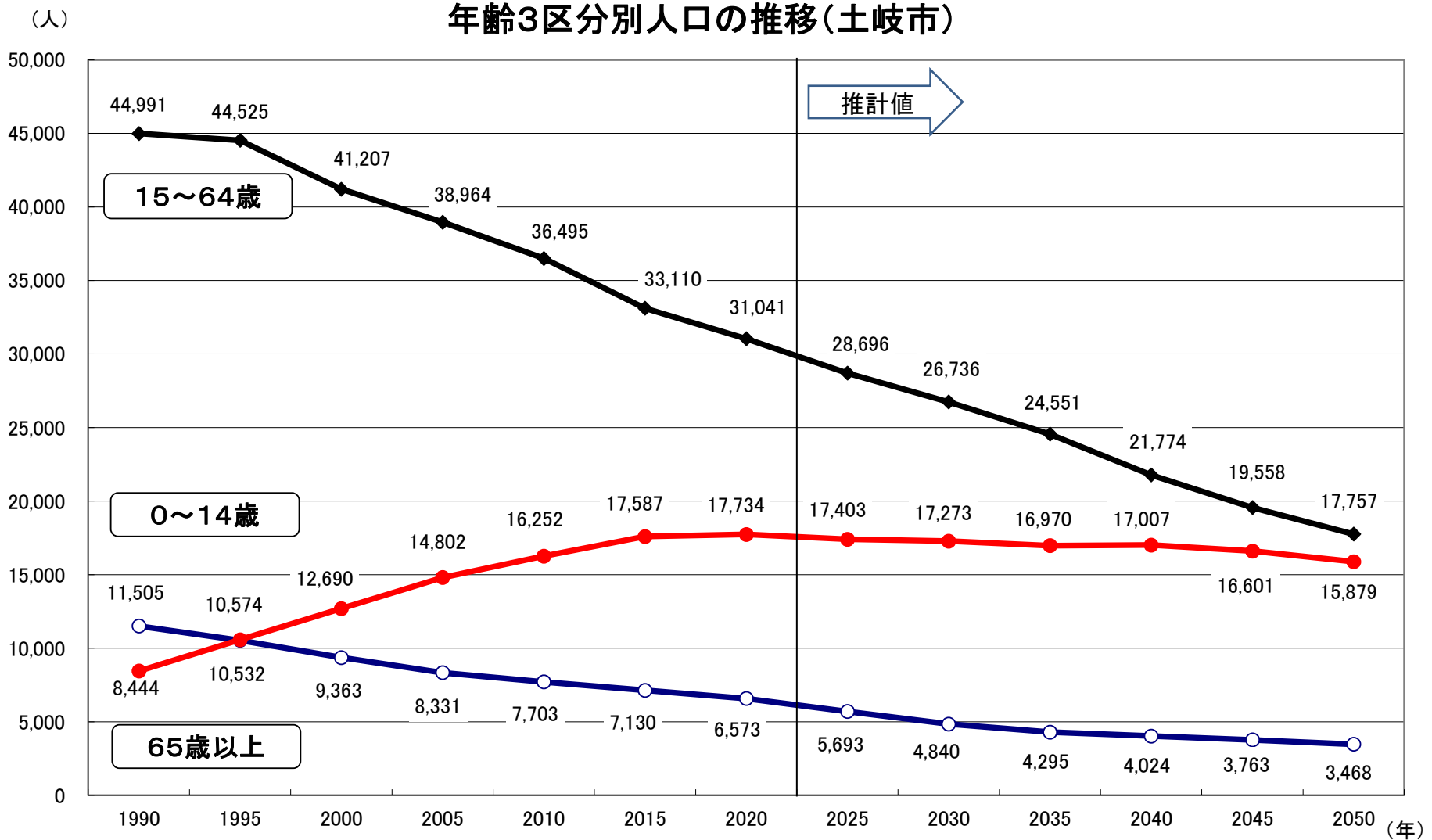
国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」



出典：総務省「国勢調査」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

参考：将来の人口の見通し（年齢3区分別人口の推移）

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」



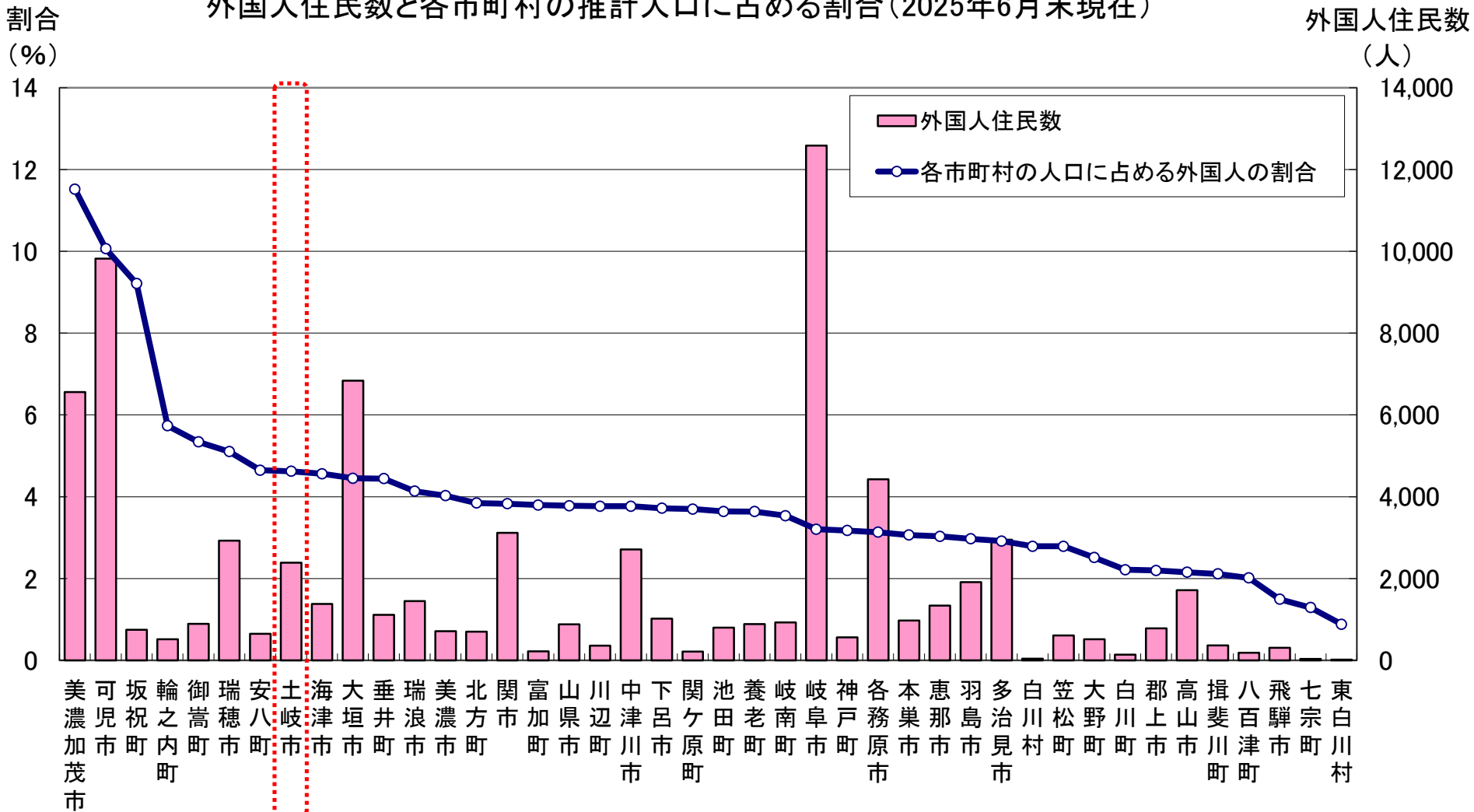
出典：総務省「国勢調査」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

注：2015年、2020年の年齢3区分別人口は、不詳補完値。

人口に占める外国人の割合は4.6%（県内8位）

岐阜県の外国人住民数77,301人のうち、土岐市の外国人住民数（2,386人）は3.1%を占める

外国人住民数と各市町村の推計人口に占める割合（2025年6月末現在）



出典：法務省出入国在留管理庁「在留外国人統計（2025年6月末現在）」、割合は岐阜県「人口動態統計調査」による推計人口（2025年7月1日現在）により算出。

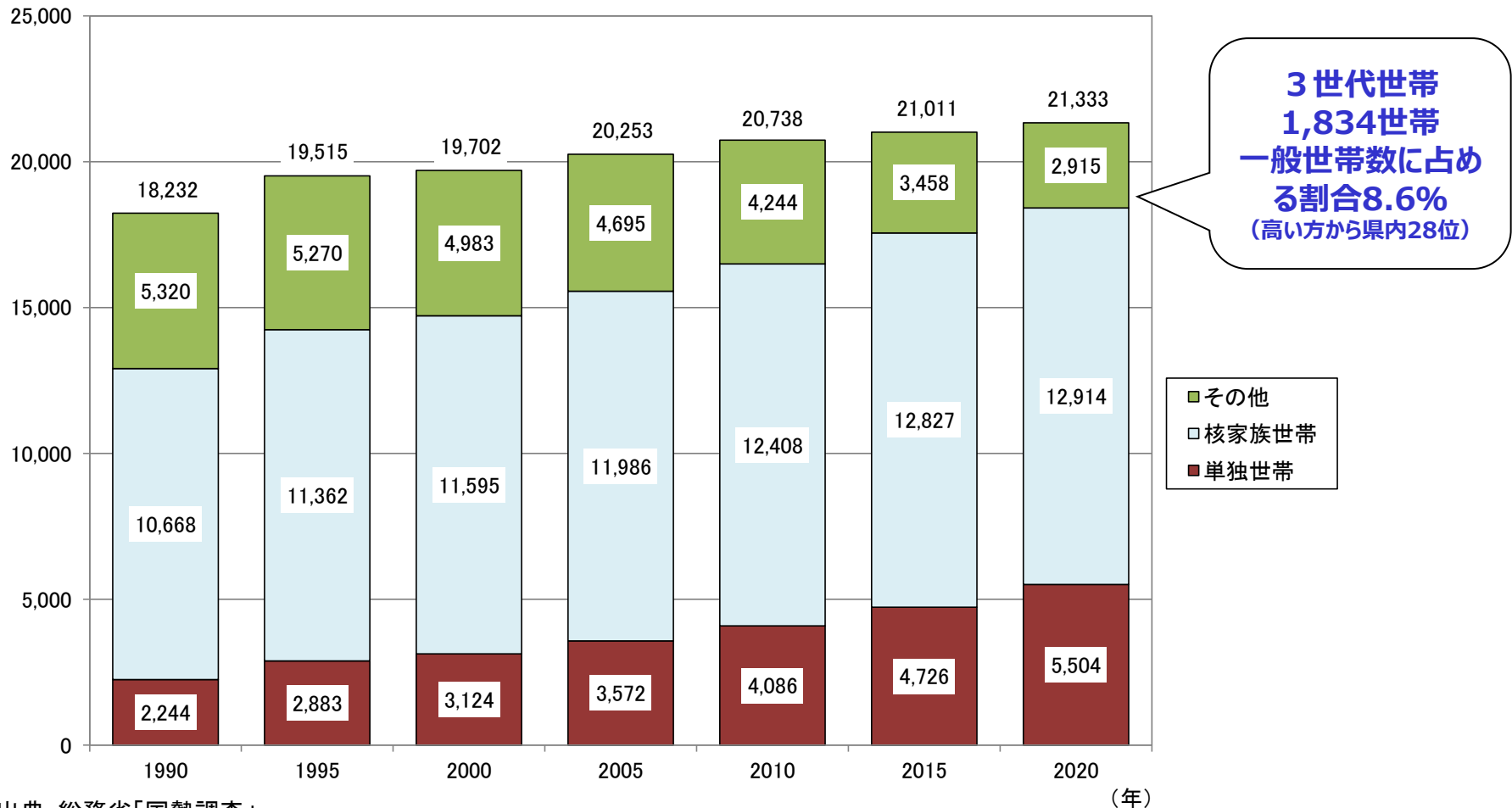
一般世帯数が増加する一方、1世帯当たり人員数は減少 単独世帯が大きく増加

単独世帯は1990年以降の30年間で2.5倍に。

1世帯当たり人員数：2.87人（2010年）→2.55人（2020年 県内24位）

家族類型別一般世帯数の推移（土岐市）

（世帯）

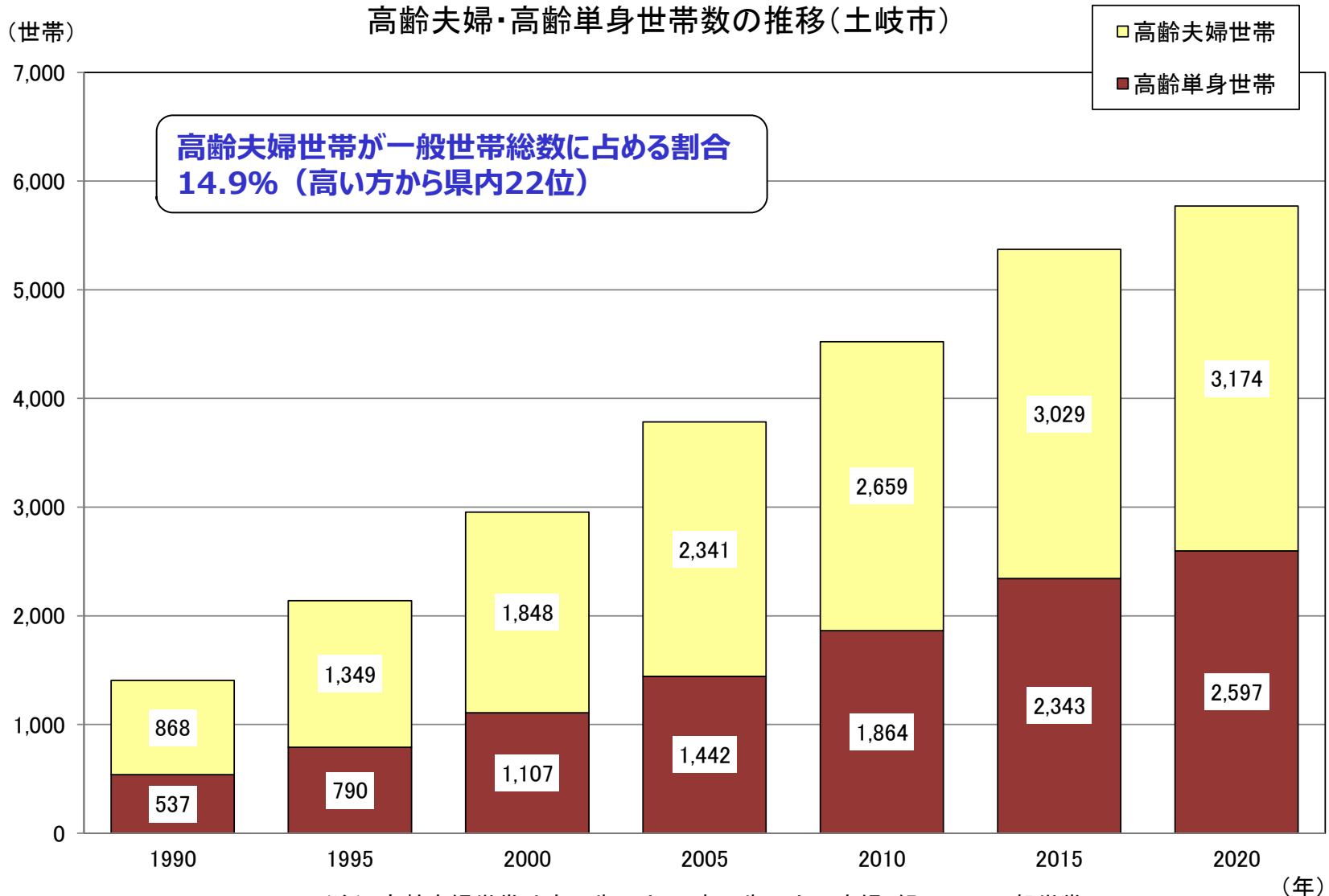


出典：総務省「国勢調査」

注：一般世帯は、病院、社会福祉施設などで生活する人を除いたもの。

高齢夫婦世帯や高齢単身世帯が大きく増加

1990年以降の30年間で高齢夫婦世帯は3.7倍、高齢単身世帯は4.8倍に増加。



(注)・高年齢夫婦世帯は夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯

・高年齢単身世帯は65歳以上の一人のみの一般世帯

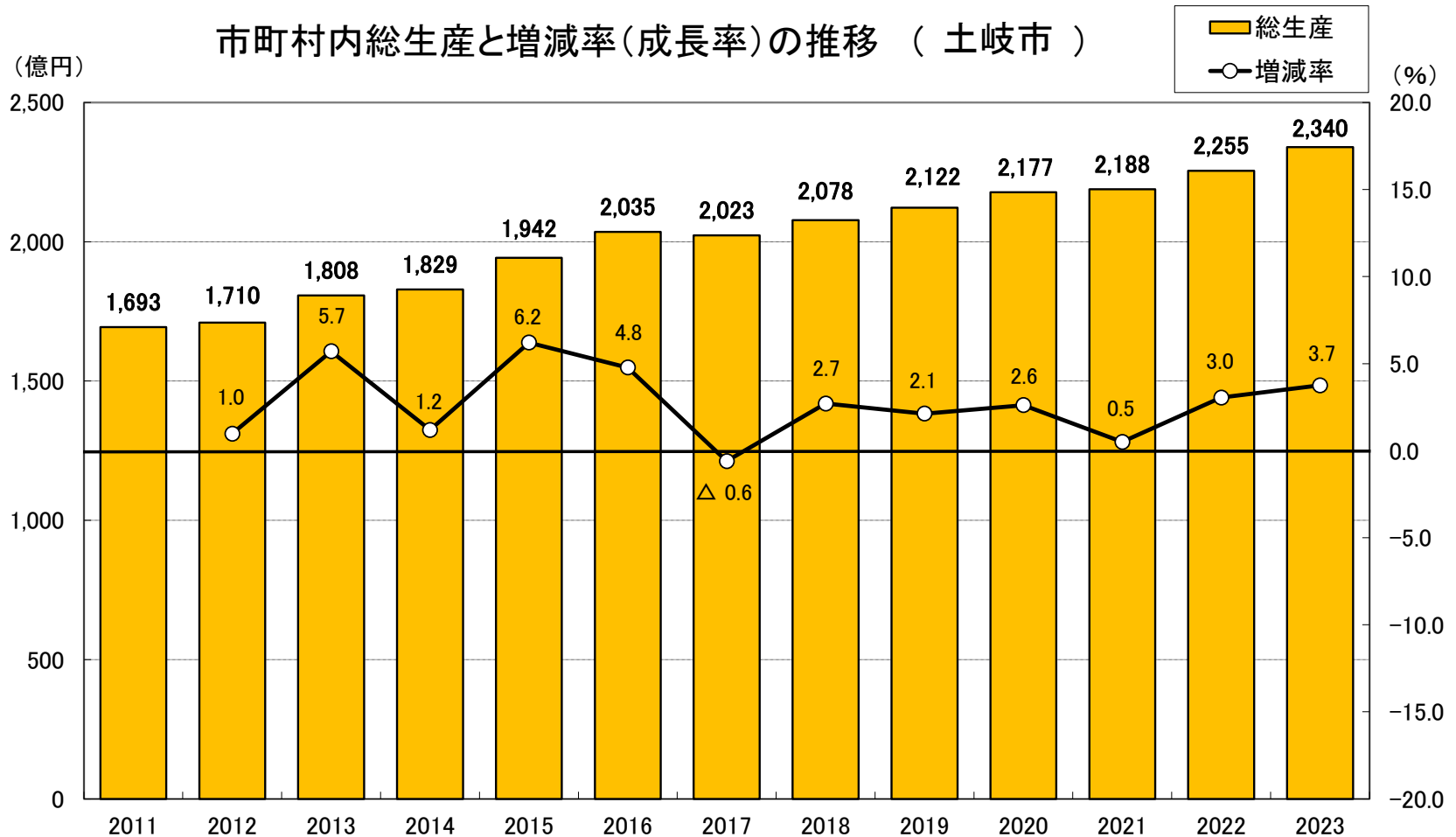
土岐市の総生産は2340億円 1人当たり市町村民所得は331万7千円

総生産は県（名目8兆3862億円）の2.8%、県内10位

1人当たり市町村民所得は県（326万4千円）の101.6%、県内14位

※ 1人当たり所得には企業所得等を含み、市町村全体の経済水準を示すもの

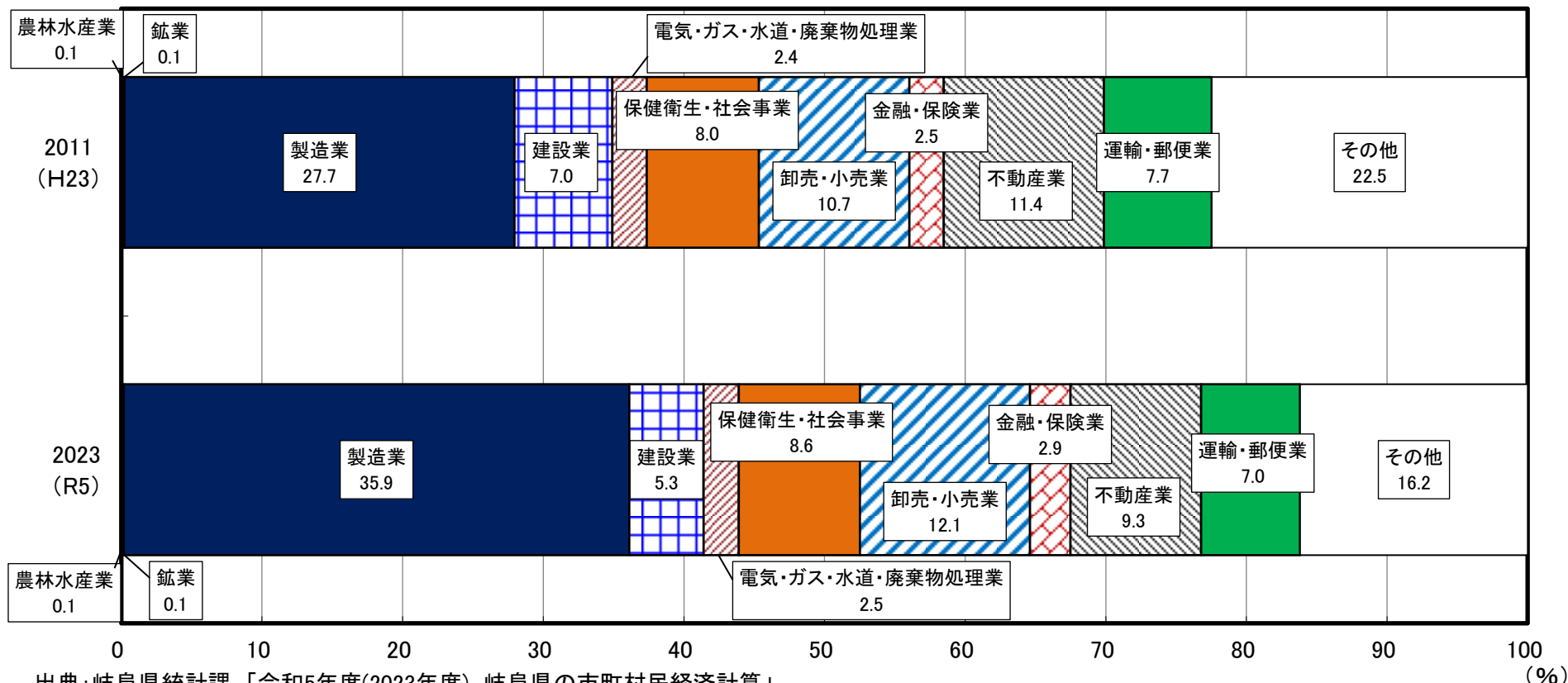
市町村内総生産と増減率（成長率）の推移（土岐市）



第2次産業が41%、第3次産業が58%を占める産業構造

製造業、卸売・小売業の割合が高い

市町村内総生産の経済活動別構成比 (土岐市)



出典: 岐阜県統計課「令和5年度(2023年度)岐阜県の市町村民経済計算」

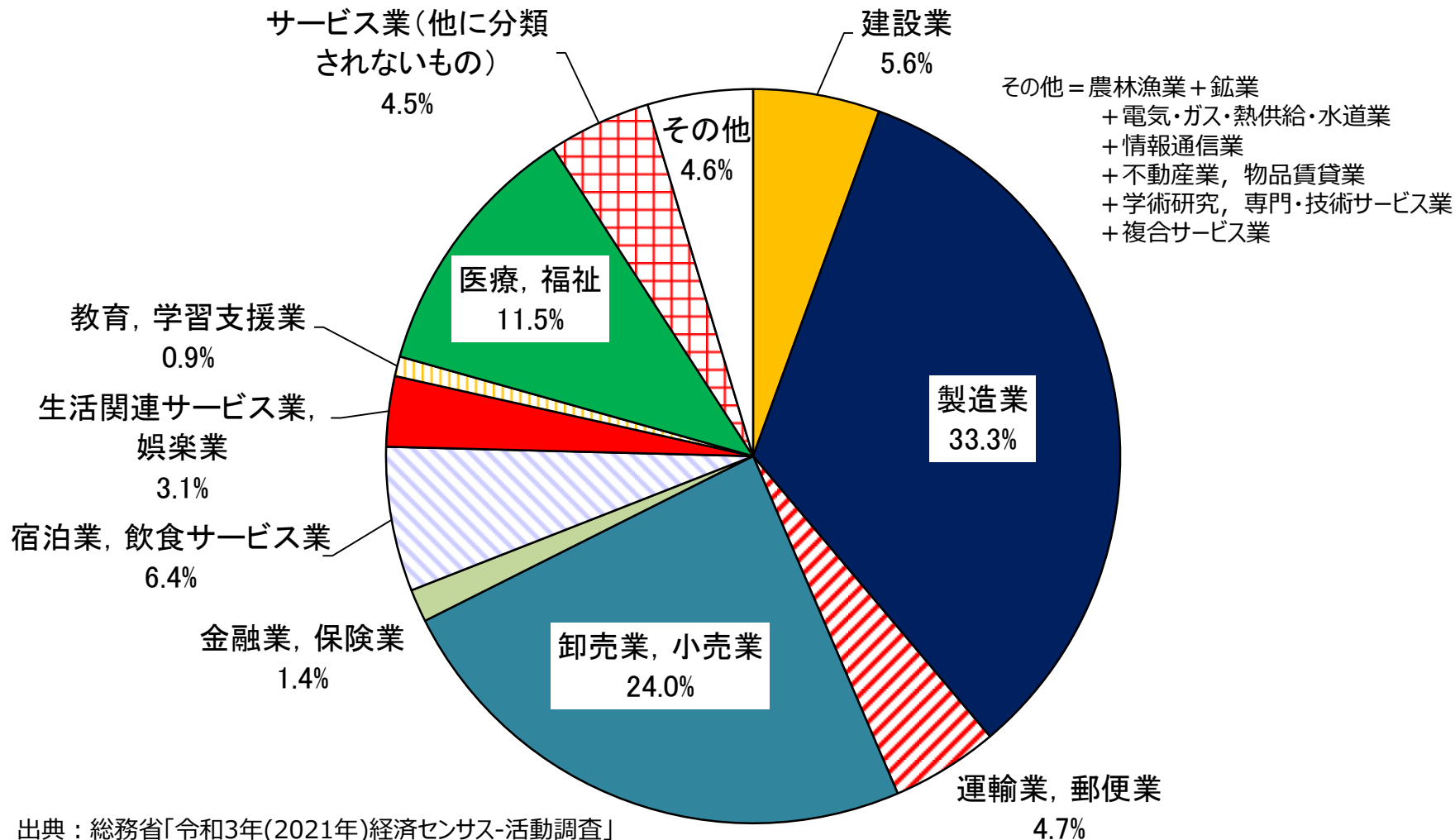
注1: 「不動産業」には、持ち家の帰属家賃を含んでいる。

注2: 「その他」は、宿泊・飲食サービス業、情報通信業、専門・科学技術、業務支援サービス業、公務、教育、その他のサービスの合計。

なお、輸入品に課される税・関税等も含めている。

産業別の従業者数は、製造業が33.3%と最も多く、 次いで卸売業,小売業が24.0%を占める

産業別従業員数の構成比(土岐市 2021年)



出典：総務省「令和3年(2021年)経済センサス-活動調査」
注：事業内容等が不詳の事業所を除く。公務を除く。

産業別従業者でみると、全国と比べて、 製造業、鉱業の特化係数が高いことが特徴

産業別事業所数、従業者数（土岐市 2021年）

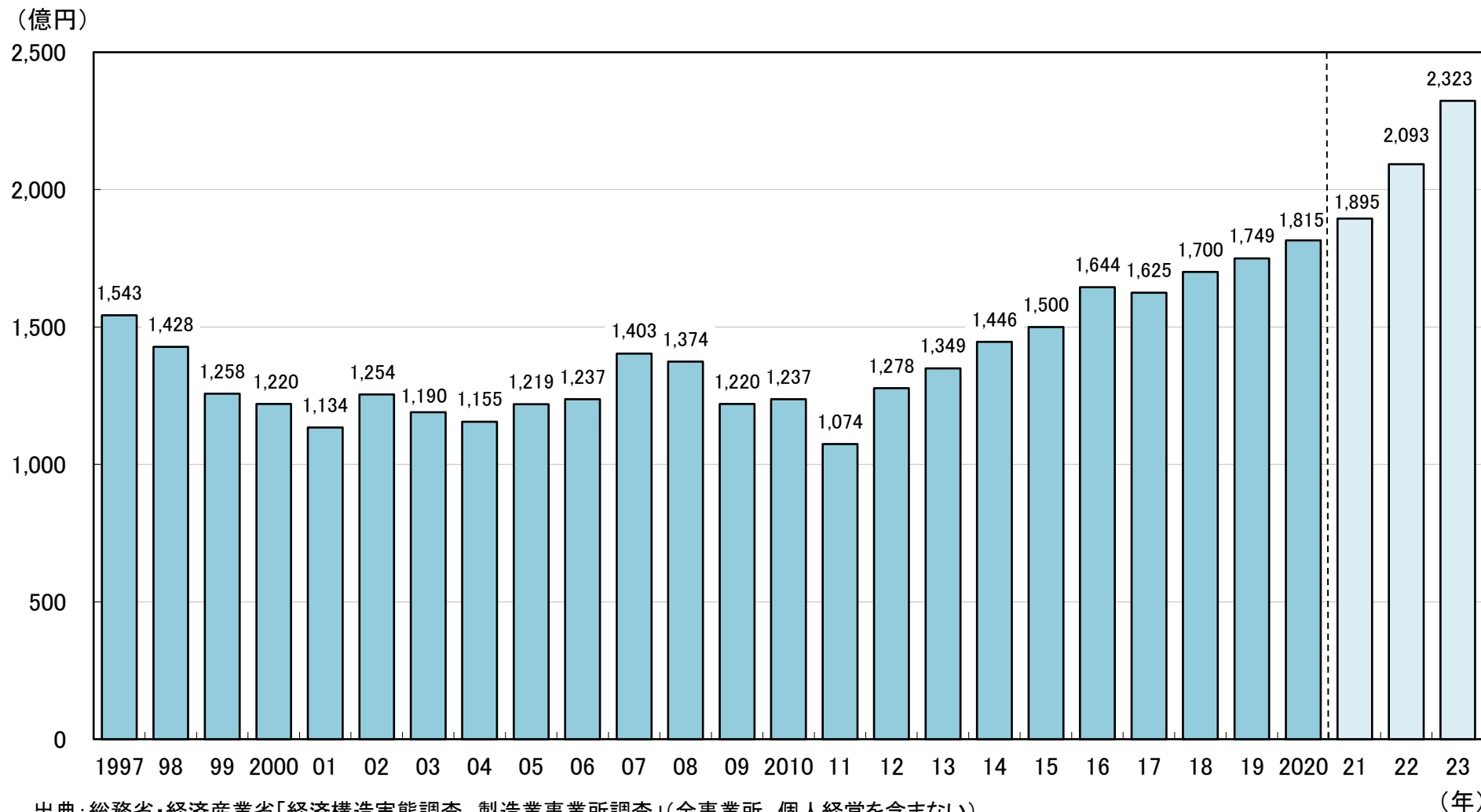
| | 事業所数 | 従業者数 | | 産業別従業者数の 構成比による特化係数 | |
|-------------------|-------|--------|-------|------------------------|--------|
| | | (人) | 構成比 | 全国=1.00 | 県=1.00 |
| 総数 | 3,090 | 25,262 | 100.0 | 1.00 | 1.00 |
| 農林漁業 | 4 | 47 | 0.2 | 0.24 | 0.17 |
| 鉱業 | 2 | 18 | 0.1 | 2.10 | 1.07 |
| 建設業 | 278 | 1,408 | 5.6 | 0.86 | 0.82 |
| 製造業 | 785 | 8,402 | 33.3 | 2.19 | 1.34 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 1 | 1 | 0.0 | 0.01 | 0.01 |
| 情報通信業 | 10 | 70 | 0.3 | 0.08 | 0.37 |
| 運輸業, 郵便業 | 74 | 1,192 | 4.7 | 0.84 | 1.04 |
| 卸売業, 小売業 | 868 | 6,074 | 24.0 | 1.20 | 1.26 |
| 金融業, 保険業 | 34 | 366 | 1.4 | 0.56 | 0.63 |
| 不動産業, 物品賃貸業 | 82 | 233 | 0.9 | 0.33 | 0.52 |
| 学術研究, 専門・技術サービス業 | 79 | 638 | 2.5 | 0.69 | 1.11 |
| 宿泊業, 飲食サービス業 | 279 | 1,608 | 6.4 | 0.79 | 0.78 |
| 生活関連サービス業, 娯楽業 | 205 | 782 | 3.1 | 0.82 | 0.77 |
| 教育, 学習支援業 | 53 | 220 | 0.9 | 0.26 | 0.33 |
| 医療, 福祉 | 209 | 2,895 | 11.5 | 0.81 | 0.86 |
| 複合サービス事業 | 12 | 165 | 0.7 | 0.87 | 0.72 |
| サービス業(他に分類されないもの) | 115 | 1,143 | 4.5 | 0.50 | 0.63 |

出典：総務省「令和3年(2021年)経済センサス-活動調査」

注) 事業内容等が不詳の事業所を除く。公務を除く。

2023年の製造品出荷額等は、2323億円

製造業製造品出荷額等の推移（土岐市）



出典：総務省・経済産業省「経済構造実態調査 製造業事業所調査」(全事業所、個人経営を含まない)

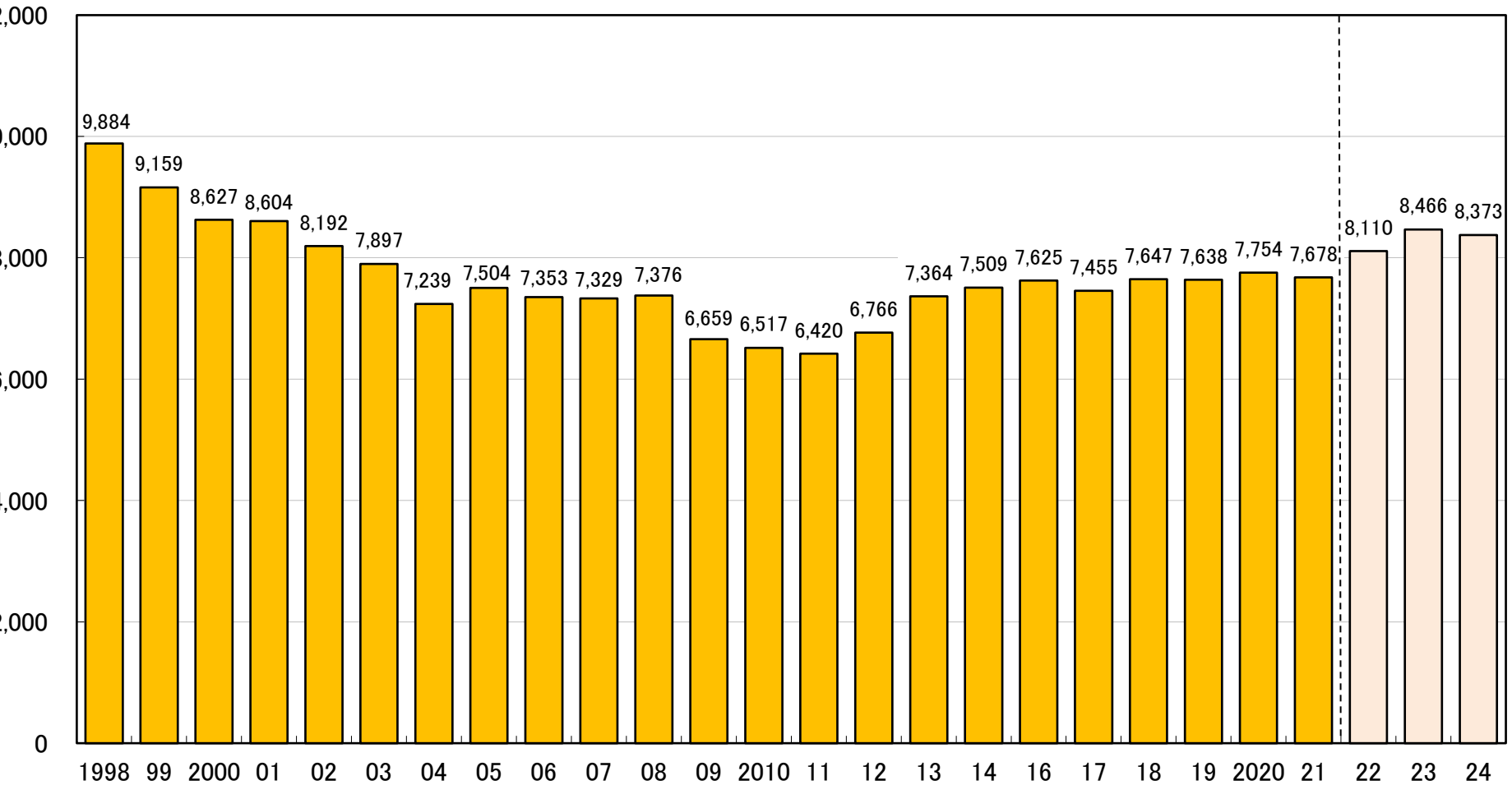
1997年～2019年は経済産業省「工業統計」(従業者4人以上)、ただし2011年、2015年、2020年は総務省「経済センサス-活動調査」(従業者4人以上)

注：「経済構造実態調査 製造業事業所調査」と「工業統計」、「経済センサス-活動調査」は集計範囲等が異なるため単純比較できない。

製造業の従業者数は、近年増加傾向

製造業従業者数の推移（土岐市）

(人)



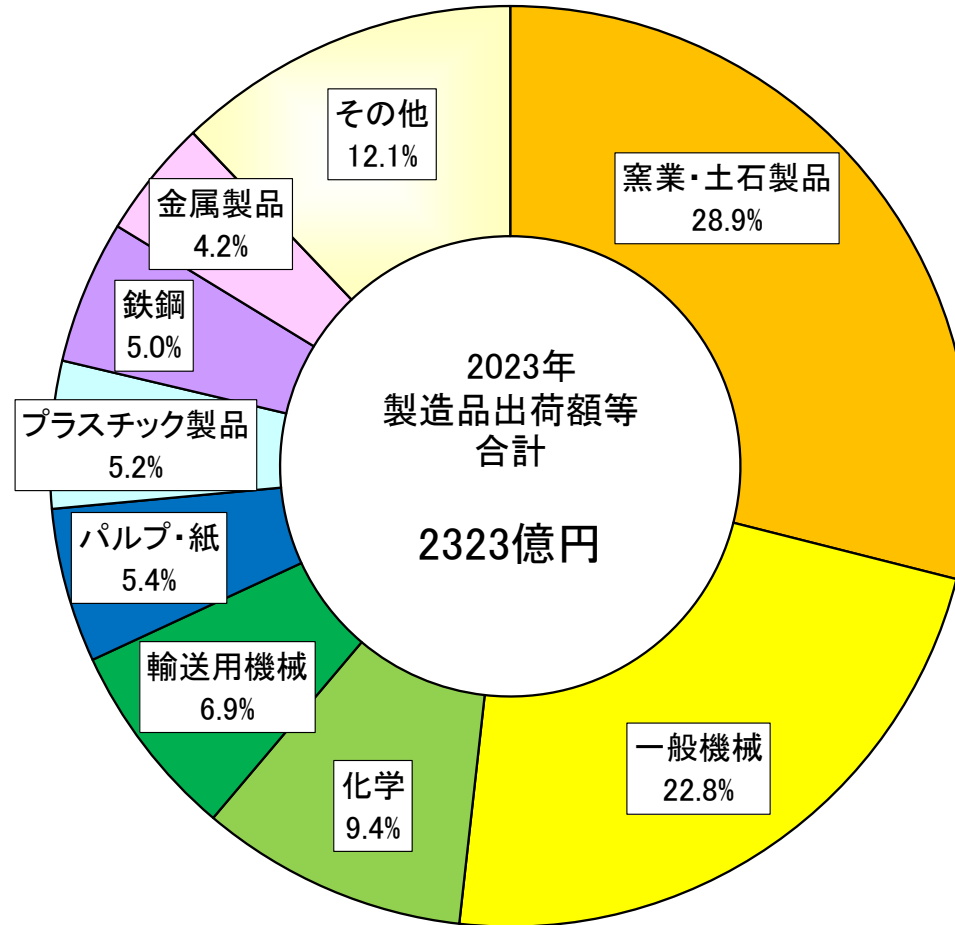
出典：総務省・経済産業省「経済構造実態調査 製造業事業所調査」(全事業所、個人経営を含まない) (年)

1998年～2020年は経済産業省「工業統計」(従業者4人以上)、ただし2012年、2016年、2021年は総務省「経済センサス-活動調査」(従業者4人以上)

注：「経済構造実態調査 製造業事業所調査」と「工業統計」、「経済センサス-活動調査」は集計範囲等が異なるため単純比較できない。

窯業・土石製品が28.9%と最も多く、 次いで一般機械が22.8%を占める

製造品出荷額等の業種構成 < 土岐市 >



出典：総務省・経済産業省「令和6年(2024年)経済構造実態調査 製造業事業所調査」(全事業所、個人経営を含まない)

注1：「一般機械」=はん用機械器具+生産用機械器具+業務用機械器具

注2：「木材・家具等」=木材・木製品製造業(家具を除く)+家具・装備品製造業

注3：事業所数が少ないため製造品出荷額が秘匿となっている業種は「その他」に含む。

また、「一般機械」、「木材・家具等」は、内訳の業種に秘匿がある場合は、その業種の製造品出荷額は合算していない。(「その他」に含む)

注4：単位未滿を四捨五入しているため、合計は100%とならない場合がある。